

# 新着図書だより

7月15日付で入った新着図書 64冊の  
分類別一覧です。  
図書の背についている丸いイエローの  
シールが目印です。



京極町 ”みんなの図書館” 湧学館

# 新着図書(一般書)

(注:書名の前の数字は分類番号です。)

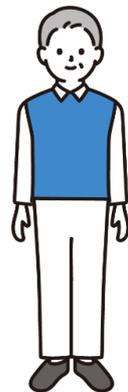
- 【社会科学】  
367.7 お一人様老後のこれで安心大丈夫vol.6 (大洋図書)
- 【産業】  
645.7 ボス猫 (岩合 光昭)
- 【芸術・スポーツ】  
B726.1 『鬼滅の刃』で哲学する (小川 仁志)  
763.2 小学生がひきたいヒットソング
- 【文学】  
911.5 どこからか言葉が (谷川 俊太郎)
- (随筆)  
916 パンデミック日記 (「新潮」編集部)
- (外国文学)  
929.1 大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした (クルベウ)
- (読み物)  
F ブレイクニュース (薬丸 岳)  
F 神よ憐れみたまえ (小池 真理子)  
F 罪の因果性 (横関 大)  
F 大連合 (堂場 瞬一)  
F ヒトコブラクダ層ぜっと下 (万城目 学)  
F ヒトコブラクダ層ぜっと上 (万城目 学)  
F 君と歩いた青春 (小路 幸也)  
F 海神の子 (川越 宗一)  
F 世阿弥最後の花 (藤沢 周)
- F まりも日記 (真梨 幸子)  
F インタビュー・ウィズ・ザ・プリズナー (皆川 博子)  
F 緊急事態下の物語 (尾崎 世界観)  
F ブラック・チェンバー・ミュージック (阿部 和重)  
F 雨の日は、一回休み (坂井 希久子)  
F 星に祈る (あさの あつこ)  
F ランチ酒[3] (原田 ひ香)  
F JAGAE (夢枕 獏)  
F 雨夜の星たち (寺地 はるな)  
F 梅花下駄 (佐伯 泰英)  
F 琥珀の夏 (辻村 深月)  
F 宗棍 (今野 敏)  
F うらんぼんの夜 (川瀬 七緒)  
F 姉の島 (村田 喜代子)  
F 黒牢城 (米澤 穂信)  
F 野球が好きすぎて (東川 篤哉)  
F プリンス (真山 仁)  
F 雷神 (道尾 秀介)  
F アンソールシャルディスタンス (金原 ひとみ)  
F 白医 (下村 敦史)  
F 薔薇のなかの蛇 (恩田 陸)  
F インドラネット (桐野 夏生)  
F 神さまのいうとおり (谷 瑞恵)  
F まだ人を殺していません (小林 由香)  
F リボルバー (原田 マハ)  
F 最終飛行 (佐藤 賢一)  
F スカイツリーの花嫁花婿 (青柳 碧人)  
F 本心 (平野 啓一郎)  
F ない本、あります。(能登 崇)

## 「お一人様老後のこれで安心大丈夫」

出版：大洋図書

ひとり暮らしの高齢者は年々増加傾向にあり、2025年にはおよそ700万人になると見込まれています。「健康寿命」は伸びていますが、それでも健康に過ごせる年齢には個人差があり、ひとり暮らしの将来に不安を抱えている方もいるのではないのでしょうか。

もし入院することになったらペットをどうするべきか、またペットと暮らせる老人



# あたらしい本(こども用)

(注:書名の前の数字は分類番号です。)

- 【おはなし】  
(日本のおはなし)  
913 正吉とヤギ (塩野 米松)  
913 トムと3時の小人 (たかどの ほうこ)  
913 れんこちゃんのさがしもの (戸森 しるこ)  
913 月にトンジル (佐藤 まどか)  
913 用具室の日曜日カミナリこぞうときえた  
ふくろう (村上 しいこ)  
913 あしたもオカピ (斉藤 倫)
- (海外のおはなし)  
933 コレットとわがまま王女  
(ルイス スロボドキン)
- 【えほん】  
E ほらふきカーンおじさんトルコへいく  
(斉藤 洋)
- E ムーミントロールと真夏のミステリー  
(トーベ ヤンソン)  
E いたいときのおまじない (角野 栄子)  
E としょかんのきょうりゅう (鈴木 まもる )  
E あんなにあんなに (ヨシタケ シンスケ)  
E デリバリーぶた (加藤 休三)  
E おもわずおもわず (えがしら みちこ)  
E みちとなつ (杉田 比呂美)  
E すいかのたね (グレッグ ピゾーリ)  
E パウ・パトロールジャングルであそぼう!  
(小学館)  
E おはよう!げんき?ありさんどんどんのぼったら  
(村上 勉)  
E そらまめくんのまいにちはたからもの  
(なかや みわ)

## 「月にトンジル」

作：佐藤まどか 絵：佐藤真紀子

「テツヨン」とよびあう仲よし4人組のムードメーカー、ダイキが引っ越すことに。

変化を受け入れられない主人公トールは、おじいちゃんが残した言葉をきっかけに、  
見えていなかった「テツヨン」の内面に気づきはじめる……。

オモテとウラの顔があることにはじめて気づいた怖さ。ウラガワをもつからこそ感じる人間らしい魅力。



## 「すいかのたね」

作：グレッグ・ピゾーリ

朝、昼、晩ごはんにはスイカ、もちろんデザートにもスイカ!  
スイカが大・大・大好きなワニが、うっかり種をのみこんでしまっ  
て・・・?

小さい子どもはもちろん、小さかった大人も一度は想像したようなことを、  
ユーモアたっぷりに描きます。

「わかるわかる」とうなづいたり「食べ過ぎだよ」と突っ込んでもらった

